



アドビの CPSI を搭載した ソニーの PostArt Pro が大日本スクリーン製造の Genasett 3050F/3035F に対応

【1996年7月4日】

アドビシステムズ ジャパンは、ソニー株式会社（本社：東京都港区）より Adobe Configurable PostScript® (ポストスクリプト) Interpreter (CPSI) Level 2 ソフトウェアを搭載した PostArt Pro サーバーを大日本スクリーン製造株式会社のイメージセッタ、Genasett 3050F/3035F に対応させた RIP (Raster Image Processor) システムを、1996年9月より出荷開始を予定していると発表しました。

PostArt Pro サーバーは、ソニーが UNIX システムをもとに、より使いやすさを求めて開発した NEWS-OS 上に、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) のソフトウェア RIP である CPSI が搭載されています。PostArt Pro サーバーは、出力対象となる機器のエンジンをドライブするための「PS フィルター」と呼ばれるソフトウェアを追加することができる、オープンな RIP システムです。今回発表された Genasett 3050F/3035F 対応のシステムは、CPU に最新、最高速を誇る R10000 を採用した NWS-7000 シリーズでも利用可能で、CPU の性能アップはそのまま CPSI の RIP 性能向上につながっています。

大日本スクリーン製造株式会社の Genasett 3050F/3035F は、LD 平面走査のエンジンを用いた解像度 1000 ~ 3000 (dpi/dot per inch) のイメージセッタです。出力幅は Genasett 3050F が A3 ワイドの 355mm、Genasett 3035F は A2 ワイドの 508mm となっています。

PostArt Pro シリーズは、今回発表されたシステムを加えると 3 社^{*}、合計 8 機種のイメージセッタに対応可能となりました。(^{*} 日本アグファゲバルト株式会社、富士写真フイルム株式会社、大日本スクリーン製造株式会社)

販売価格、その他製品の詳細については、NEWS インフォメーションセンターまでお問い合わせください。

Adobe Systems Incorporated は 1982 年に創設され、米カリフォルニア州マウンテンビューの本社を拠点に活動を展開しています。アドビは電子メディアによる書類の作成・表示・印刷・伝送などを実現するソフトウェアやコンピュータ技術の研究開発をおこなっています。また、自社技術をコンピュータ機器や印刷機材の大手メーカーへライセンス供与するほか、コンピュータで利用可能な書体フォントやアプリケーションソフトウェアの開発・販売もおこなっています。このほか、ホームユースや中小企業向けに、高度な技術にすぐれた操作性を付加した製品も提供しています。またアドビは、ヨーロッパと環太平洋地域の拠点からの販売網を通じて世界各地に製品を提供しています。アドビシステ



ムズ ジャパンは、アドビ システムズ社の全額出資による日本支社です。同社は 1989 年に設立されて以来、世界中の OEM との協力により日本市場向けポストスクリプト製品の開発に携わっています。